



会 報

地まぐち

No. 48

平成33年

9 月発行

第43回定時総会開催

山口県土地家屋調査士会

第44回定時総会開催される

平成2年度の定時総会が、平成3年5月20日(月)午前10時30分から、ホテルみやけに於て開催された。

出席者数は会員総数267名のうち、委任状・出席115名を含む218名であった。

竹内副会長司会のもとに、乗川副会長開会を宣し、黙祷、倫理綱領唱和、新本会長挨拶の後、表彰式があり次の方が栄ある表彰を受けられた。

◦ 山口地方法務局長表彰

功績表彰 宮崎晴雄、高田吉雄

永年表彰 浅原 薫、野村幸人、石村慶吾

◦ 日本土地家屋調査士会連合会長表彰

竹内重信、佐伯 稔、原田美三男、壺村復亮

◦ 山口県土地家屋調査士会会長表彰

宮崎晴雄、藤井宏紀、山本紀夫、松田幾郎、三好一敏、滝野基雄

鶴巻栄一、中村正美

来賓挨拶

横本欣一 山口地方法務局長殿 宮本研道 小郡町長殿

加藤東吾 日調連会長代理殿

祝電披露の後、議長に宮崎晴雄会員が選任され、副議長に上村栄会員が指名された。

次いで、出席人員の報告、議事録署名人の指名がなされ、乗川副会長より平成2年度の会務報告の説明があり、議事に入る。

第1号議案

1. 平成2年度事業報告並びに収支決算承認の件
2. 平成3年3月31日現在一般会計財産目録承認の件
3. 平成2年度用紙等特別会計決算報告の件
4. 平成2年度証紙会計決算報告の件

5. 平成2年度互助会会計決算承認の件

6. 山口県司調会館運営委員会会務報告の件

以上、一括上程され、それぞれ執行部より説明、監査報告、質疑応答の後一括採決され、可決承認。

次いで、

第2号議案

会則一部変更の件

第3号議案

1. 平成3年度事業計画案承認の件

2. 平成3年度収支予算案承認の件

執行部より説明の後、質疑応答の後、可決承認された。

第4号議案

役員改選の件

会長・副会長の選任は推薦委員会の推薦による方法で中原委員長より新本会長、乗川副会長、竹内副会長、高田副会長が推薦され、承認可決された。

予定の議事終了の後、自由な意見発表の後、加藤連合会副会長の全国情勢報告があり、議長・副議長は降壇した。

次いで新入会員の紹介があり、午後3時、高田副会長の閉会の挨拶で、第44回定時総会はとどこおりなく終了した。

尚、平成3年度事業計画は次ページの通り決定された。



平成3年度事業計画

1 総務部

- (1) 申請書補正状況、証紙貼付状況及び非調査士の調査の実施並びに公嘱登記の実態調査
- (2) 事務所形態の研究

2 企画部

- (1) 研修会の開催
- (2) 法務局登記部門との協議会の開催
- (3) 企画委員会議の開催
- (4) 新入会員研修会の開催
- (5) 報酬研究委員会の開催
- (6) 境界標識統一の促進

3 厚生部

- (1) 共済制度、保険制度、年金制度の充実をはかる
- (2) 高齢者会員の福祉優遇措置をはかる
- (3) 会員親睦のレクリエーションの実施

4 公共事業部

- (1) 地図整備の促進
- (2) 基準点（図根点）の設置と管理
- (3) 公嘱協会との連絡調整
- (4) 登記部門、用地課等との協議会の開催

5 広報部

- (1) 会報やまぐちの発行3回（9月、12月、3月）
 - (2) 「表示登記の日」のPRの推進
 - (3) 「法の日」及び「不動産登記制度記念の日」無料相談所協賛
 - (4) 土地家屋調査士の団結の強化とPRの実施
-



ご 挨拶

山口地方広務局長 横 本 欣 一

早いもので、山口局に晋任しまして4か月が経ちました。早業は、当局的局務運営に多大のご支援ご協力を頂いておりまして厚く御礼申し上げます。

さて、山口県土地家屋調査士会の皆様には、5月の総会のほか公職協会総会、三巻協議会等の席上でご挨拶を申し上げてきたところですが、会議に出席しましていつも感じますことは、調査士の皆様は活気に満ち溢れておられるということでありまして、多くの皆様に敢然として立ち向っておられる積極姿勢が伺えるのであります。今後とも一層のご活躍ご発展を念じて止みません。

ところで、登記行政の当面する課題の一つであります地図の整備につきまして、当局に備え付けている公図と登記簿の一筆対査等につきまして公職(調)協会のご協力を頂いておりまして厚く御礼申し上げます。

地図問題につきましては、山口県は、歴史的な経過から山林部について公図の

備え付けがなく、それは県全体の50%に及んでおりますが、取引、開発等に大きな障害となっておりますことはご承知のとおりであります。法務局としましては、当該地域の国土調査の早期着手を実務機関にお願いするとともに、表示登記処理に当たっては、「地図の備え付けのない地域の登記事務取扱要領」に基づき適正処理に努めているところですので、ご協力方よろしくお願ひします。

また、当局におけるコンピュータ化の問題につきましては、諸準備が順調に進みますならば、予定どおり平成6年度から移行作業が開始されることになっております。しかしながら、このコンピュータ化を円滑に推進していきますためには登記特会の財源を確保することが是非とも必要なことでもありますので、皆様方には、この点についてののご理解を頂き、計画どおり実現できますよう重ねてご支援ご協力をお願いいたします。



就任ご挨拶

会長 新本 清人

「継続は力なり。愛は持続なり」の言葉を感じ、乏しい自己を含みながら更なる継続という絆に結ばれて今一度。

会員の方々からの御推薦の声にお応えして会長の職をお受けする決心を致しました。絶てを初心に帰り踏み歩んできた過去の拙い経験の礎つかを掘り起こして269名土地家屋調査士会員各位のよりよきまとめ役乃至は番犬の役に盡し精進努力を致したいと覚悟しました。

どうか、副会長を始め役員各位の力強い御協力と会員各位の御理解と御助言を頂戴したいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。

新しくスタートするに当たり、次のようなことを希うものであります。役員全員が明るくて楽しい活力に満ちた業務執行がしたい。互いに信頼し合い各々の手腕と人格を尊重し、連帯の中でそれぞれの役割に溶け込み、創造と行動力を発揮して効率のよい会の運営がしたい。

昔はS L型機関車が数多くの車両を一連又は重連で牽引した時代は過ぎ去っ

た。今は各々車両毎に牽引力と制動力を備え、これを連結して強い力を発揮する新幹線電車の様に皆の力を結集して一つの目的に向かって奮進し又必要に応じ制動力を待ちたいものと考えます。執行部も役員だけの活性によるのではなく常に会員一人一人を考えての行動がしたいものと存じます。

筋(もやい)は舟と舟とを繋ぎ合わせると言う意味であります。これを発展させ共同の目的を通して持ちつ持たれつの関係と思いやりの気持ちを含ませたいもので、人間関係でも同じ職能に携わる者同志の筋のとり方の良し悪しにより離れ離れの状態もあれば接近し過ぎ互いに触れ合い傷付き合うこともあるだろう。適度の筋のとり方と互いに努力し、協力し、気配りをし合ってこそこの業界の発展につながるものと信じます。

業務の動向、事件数の伸び等今後に備え考えてよりよき調査士会の運営と業務の発展向上に会員の皆様と共に助入で参りたいと存じます。

1 回目理事会報告

平成3年度理事会が支部長会と合同で平成3年7月6日(土)1時30分より山口県婦人文化会館に於て、新本会長以下副会長、監事、理事、支部長、綱紀委員の出席のもと、開催された。

会長挨拶の後、議事録作成者、議事録署名人の指名がなされ、議事に入った。

①西山前相談役を引続き相談役に委嘱し、②部会の編成を連合会組織に合わせ次の通り決定した。

総務部、広報部

担当副会長 乗川副会長
理 事 八木(部長)
河村、片山、堀家

経理部、厚生部

担当副会長 竹内副会長

理 事 田中(部長)
岡村、増満、沖潮

企画部・公共事業部

担当副会長 高田副会長

理 事 瀬口(部長)

西本、山根、水津

支部長会

議 長 宮崎支部長

副議長 三好支部長

綱紀委員会

委員長 原田美三男

副委員長 井尻富士夫

全館運営委員会委員

八木理事、増満理事



平成3年度～4年度 山口県土地家屋調査士会役員名簿

平成3年7月10日現在

役 職		氏 名		支 部	役 職		氏 名		支 部
会	長	新本	清人	岩国	監	代 表 監 事	原野	友一	宇部
名 誉 会 長	三好	敏夫	萩	監 事		細野	毅	徳山	
相 談 役	西山	雅敏	防府	〃		木下	勝	防府	
総務部・広報部	担当副会長	乗川	良介	徳山		予 備 監 事	小倉	六治	山口
	部 長 理 事	八木	哲郎	山口	支 部 長 会 議 長	支 部 長 会 議 長	宮崎	晴雄	徳山
	理 事	河村	誠一	岩国		〃 副議長	三好	一敏	萩
	〃	片山	修一郎	萩		支 部 長	浦井	義明	岩国
	〃	堀家	徹	下関		〃	林	俊男	防府
経理部・厚生部	担当副会長	竹内	重信	萩		〃	青木	正治	山口
	部 長 理 事	田中	拓朗	徳山		〃	鶴巻	栄一	宇部
	理 事	岡村	重行	岩国		〃	福田	真一	下関
	〃	増瀧	増郎	山口		綱 紀 委 員 会	綱 紀 委 員 長	原田美三男	徳山
	〃	沖潮	宗男	下関			〃 副委員長	井尻富士夫	岩国
企画部・公共事業部	担当副会長	高田	吉雄	下関			綱 紀 委 員	杉本	茂
	部 長 理 事	瀬口	潤二	宇部	〃		野村	幸人	山口
	理 事	西本	聡士	徳山	〃		長田	幸三	萩
	〃	山根	勇	防府	〃	平山	正昭	宇部	
	〃	水津久太郎	宇部	〃	〃	溝口	保二	下関	



就任のあいさつ

前会長 兼 川 良 介

私こと、再度山口県土地家屋調査士会の副会長に選任され、平成2年7月6日の理事会において、総務部、広報部担当の副会長として会長より指名を受け、浅学非才の身、心身共引締る思いであります。幸い、部長に二期目の八木哲郎理事又、河村誠一、片山修一郎、細家徹の各理事を配属して戴き、優秀な各理事と部活動の出来る事を、心強く感じているところであります。

日調連の三浦会長は、会の運営はフラットでなければならない。とかくありがちなピラミッド型から、グループ化し会員が自由に発言出来る様な状況を作る事が必要である、と日調連の第47回定時総会で挨拶されました。

私も全く、その通りであると思っています。今社会は大きく変動しています。

我々の業務を取まく社会情勢も、一大転換期を迎えています。登記簿もコンピュータ・システムの導入の促進が計られ一方調査士業務も外業においては光技調設備、内業においても計算から作図までコンピュータを中心とした、いわゆるト

ータルステーション化に移行して参りました。制度制定40周年を終え、今歴史を振り返る時、技術的にも180度の変革であり、時代の急速な進化に目を見張るものがあります。

全国の我々会の会員の年齢構成を見ると50才以上の会員が50%を占める状況にある中で、我々山口会の役員の構成を見ると、時代に対応するが如く、理事の平均年齢が45.41才、支部長の平均年齢が43.14才となり若い力で会が運営されることを心強く思っています。

老若相俟って、良好な会を育成し組織の強化を計って戴きたいと存じますが、尚新風を吹きこむ事の出来るチャンスと思えますし、事務所形態の改善、業務の充実の為の提案等、どしどし御意見を聞かせて戴き、山口会の益々の充実と、会員一人一人の地位の向上と、基盤の安定に寄与出来る様、一生懸命お手伝いしたいと思います。今期2年間重ねてよろしくお願ひ申上げ、私の副会長就任のこあいさつとさせて戴きます。



副会長就任にあたって

副会長 竹内 重 信

皆様の御推挙をいただき、期日の副会長就任となりました。宜しくお願いたします。

今期の担当は初めての経理部・厚生部であり、部員には徳山支部の田中拓朗、山口支部の増廣博郎、岩国支部の岡村重行、下関支部の沖瀬宗男各理事の4名であります。

部長は田中拓朗理事、私とは前記も一緒に広報部公共事業部を共にしており、昨年広報部で発行した土地家屋調査士制度制定40周年記念誌「われら調査士」を編集したスタッフのチーフであり、雑雑な私の片取片腕として3期にわたる仕えに感謝しているところであります。

さて、今期私共の部会の動きであります。週日の初部会において厚生部活動

の目論みの中、事業スローガンを会員の「人の輪づくり」とかけて、新しい行動をおこそうと話しました。

会員相互間における、運動や文化など各種趣味の同好会づくりや社会奉仕的活動の同志者の集い、又、山口会としての会員、補助者そしてその家族に呼びかけ親睦旅行の計画など、皆様の期待に係えるよう土地家屋調査士会の「人の輪づくり」を目指してまいります。

山口会が全国他会の範たるを目指す夢多き男、新本会長のもと、先づは経理部、厚生部の精鋭部員よく連携しあい、その実をあげ、会長から「お前達よくやったのう、褒美に金一封いや金五封を進ぜよう」とお褒めをいただく程に努めたいと思っております。





就任にあたって

総務・広報部長 八木 哲 郎

此の度総務・広報部を受け持つことになりましたが、不得意な部門の一つである広報を引受けるについては躊躇しましたが乗川副会長、河村、片山、堀家各理事が全面的にバックアップするということが引受けた次第で、会員の皆様には何かと御迷惑をおかけしますが宜敷く御協力をお願いいたします。

私が調査士会に加入したとき、先ず感じたことは、他の会と違って横の連絡の少ない会だなあということでした。

理事になってからは、度々逢ったり、会議を一緒にしたりで、皆さんに親しむことが出来ました。

公報協会に加入したら、共通の仕事で、共通の目的に向かって会員同志がお互

いに協力相談出来る雰囲気がありました。これは非常に喜ばしい傾向だと思います。今迄は一匹狼的な動きでしたが会員相互が一つの目標に向かって協力し合う体制が芽生えて来たのです。

人材の確保、又機械設備への投資額の増加傾向等、我々業界をとりまく環境はきびしいものがあります。会員相互が協力しありという動きが進めば、乗川副会長の提唱されている事務所の合同化、機械、補助者の共同活用も現実的なものになりつつあるということです。

業界の地位向上のため、同じ目標に向かって、全員が一丸となって当ろうではありませんか。



就任あいさつ



経理・厚生部長
田中 拓朗

去る7月6日の理事会におきまして、経理部・厚生部の部長としてご指名いただきました。本部理事は3期目にあたり、前期は広報部・公共事業部の部長をつとめさせていただきました。特に昨年広報部にとって一大事業でありました40周年記念誌の編集を担当させていただいたことは、自分にとって大変良い勉強になりました。本部理事3期目となりますと本部事業の過程がわかってきます。それにより部会の重要さ、そして部長の責任の重大さを感じています。今回は経理部・厚生部ということで、皆様が一番身近な問題に対処していく大事な仕事です。今までの私の本部理事期間の担当副会長がすべて竹内副会長で、このチームワークの良さをベースに、竹内副会長の御指導をいただきながら、各部員の方ともども、実のある部会にし、皆様の身近な事業を適正に遂行するため、努力いたしたいと思っております。よろしくお願いたします。



企画・公共事業部長
瀬口 健二

今回、企画部と公共事業部の責任者を命じられましたので、紙面を借りてご挨拶いたします。

特に、企画部とは、土地家屋調査士の顔というべき部門でその責任の重大性は、私一人で背負いきれません。

幸いなことに、この両部門の担当理事は、徳山支部の西本聡士先生、防府支部の前支部長の山根勇先生、宇部支部の水津久太郎先生という心強いメンバーで構成されていますので、この先生方とともに2年間頑張ろうと思います。

8月には、各支部の企画委員との初顔あわせもあり、このメンバーの力も借りながら与えられた任務を果たしたいと思っております。

当面の企画部の事業のメインテーマを前企画部長の手懸けられた「境界標識の統一規格の普及」という一点を最重点課題として取り組んでみたいと思っています。

分筆の測量に携わる都度に一筆につき2個以上の筆界点が必要な訳で山口県の土地家屋調査士が必ず筆界点に統一規格の境界標識を埋設すれば、1日あたり五百個の境界標識が、県内に埋設されることになる。

(一人の会員が、平均一件の分筆業務をするとして、250名の会員がいることによる)

年間250日の稼働とすれば十万個の境界標識が埋設されつづける訳でこれが毎年増加することとなり百年もすれば県下の境界は統一規格で境界標識が埋設されると考えるのは夢物語でしょうか。

どうぞ、新企画部に穏かいご援助をお願い致します。

〈燃える理事の一言〉

岩田支部 河村 謙一 理事



理事2期目です。今回は広報部担当とままりました。内容の濃い広報作りを心がけています。

山口支部 増満 増郎 理事



馬船・未熟をも顧みず、このたび理事に就任し財務部の仕事を担当することになりました。この間、皆様方のご指導をいただき重責を果たしてまいりたいと存じます。

鹿支部 片山 修一郎 理事



標高 300m に居住し、多少仕事を萩市内で置き、十数年間進歩なく置していたところ、支部の皆様より「世の中を見て来い」との御言葉で参りました。諸先輩方の御指導のもと頑張りますので、よろしく御願い致します。

下関支部 沖瀬 宗男 理事



今年度下関支部より本会理事として選任されました沖瀬です。担当は厚生・経理ということですが、会員の皆様の一助となるよう、頑張りますので宜しくお願い致します。

下関支部 堀家 徹 理事



下関支部より選出された、と言えば語彙が良いが、トコロチンの様に騒音で押し出されたのが現実の様です。

徳山支部 西本 隆士 理事



徳山支部を開設して15年、初めて本部へ出てきました。足手まといにならない様一番後ろからついていきます。

岩田支部 岡村 麗行 理事



人生万事成す皆、願望担当となりました新任理事です。微力ではありますが、与えられた期間頑張ります。

防府支部 山根 勇 理事



企画理事として2年間精一杯努力します。

宇部支部 水津 久太郎 理事



企画担当理事として微力ですが2年間、会の発展のために尽くすつもりです。

支部長就任あいさつ



徳山支部長 宮崎 晴雄

支部長と期目をおおせつかりました。本当に仕事ができるのは期目からだといわれております。支部の進むべき道

をしっかりと見極めめだ上で、機関車の役を務めるつもりです。



新支部長 三好 一敏

開業20年。先輩諸兄のお蔭で、お世話を受けていた立場から、お世話をさせて置く役目へと立場が変わってきた。4年間、本部企画部にて体験し、学んだこと

を、支部運営に生かしてゆきたいと思っている。会員数が最も少ない萩支部が、他の支部の足かせにならないためにも…。よろしくお願いします。



岩間支部長 浦井 義明

専門家集団としての本会および支部の活動、並びに日常の業務を通じて、国民の権利擁護と社会正義（社会主義ではあ

りませんよ）実現の為に頑張ろうではありませんか。



鶴守支部長 林 俊男

このたびの支部長として皆様方にお世話になります。支部の引継ぎを受けて感じた事は、我々の業界に於いては、ほぼ共通の認識が得られるのではないだろう

か。と言うことです。しかし会員個々の間には世代の隔りがあるので、時にはアバウトな感覚も、一層のご支援ご鞭撻をお願い致します。



山口支部長 青木 正治

山口支部長 青木 正治

この度、留任する事になり、若少事務所では2期目やはり長すぎます。昨年の40周年記念誌をみてみますと、歴代支部長で現在の山口支部では私が3人目となります。もっとも私より先輩の諸先生方に支部長になっていただきたく思うこの頃で御座います。と言いますのには、連合会、山口本会は社会の変化に忠じた

機構改革等、何かと頑張っておられその熱い意気込みを感じとり会員力をあわせ質の高い業務を行うとする意志改革につながるものと信じるからです。それをだれもが経験する為にも支部長等の役員に積極的に立候補してほしいと思います。支部の批判となりましたが、御挨拶とします。



宇都支部長 鍋巻 栄一

宇都支部長 鍋巻 栄一

第44回支部総会において支部長に選任され就任したのですが、幼い頃より「長」と名の付く車に着いたことが無く何となくむづがゆい思いであります。

た事を自覚させられ年令的に支部長の当番が回って来たのかと受け止めています。引受けたからには、何か會員の役に立ちたいと思っていますのでご協力宜しくお願い致します。

私自身、まだ20代の気持でいても會員名簿を見る度に新會員が増え年をとっ



下関支部長 福田 真一

下関支部長 福田 真一

先日の支部総会にて下関支部長に選任されました。若輩者で且つ未熟者の私です。支部の運営遂行に重任を感じ危んでいます。幸い当支部役員には優秀なス

タッフが揃っており一致協力して、支部発展のために努力したいと思っております。

山口地方法務局職員名簿

山口地方法務局

職名氏名	
局長	横本 欣一
次長	竹谷 良夫
(総務課)	
課長	小西 康宏
課長補佐	森藤 康徳
庶務係長	高杉 伸夫
人事係長	金子 邦人
係員	小野村 悟
係員	井上 進
係員	中村 公洋
係員	梅本 華恵
係員	波田 さやか
自動車運転手	三津田 義真
(会計課)	
課長	黒瀬 寿之
主計係長	藤田 英夫
用度係長	吉武 丈治
営繕主任	久富 豊広
係員	勝田 寛子
係員	山田 謙治郎
係員	平尾 輝彦
係員	大木 伸一
電話交換手	田邊 康子
庁婦	富田 礼子
(登記部門)	
首席登記官	加藤 光明
統括登記官	水木 正英
係員	野村 幸子
表示登記専門官	中川 洋二
係員	杉村 靖雄
登記官	有井 幸治
係員	山崎 一男

登記相談官	高井 静子
係員	榎 敦夫
登記専門職	重田 勉
係員	妹尾 祐子
係員	杉原 誠二
係員	吉岡 昌紀
(戸籍課)	
課長	中野 三男
戸籍係長	小山 稔
围籍係長	瀧村 剛
係員	中本 正和
係員	西山 義治
(供託課)	
課長	堀 生昇
供託係長	富永 勝亮
係員	松村 亮
(訟務部門)	
上席訟務官	末廣 利夫
(統括)	
上席訟務官	上山本 一興
係員	森脇 秀仁
訟務官	武下 清
(人権擁護課)	
課長	工藤 昭吉
人権擁護係長	原田 敏直
人権相談主任	西村 昭博
防府支局	
支局長	伊藤 久行
総務係長	林 隆康
統括登記官	睡夫 明
登記官	釜谷 和代
係員	松下 衛
登記官	藤水 幸成
登記調査官	武吉 勲
登記専門職	藤井 隆弘

登記専門職	竹内 芳行
係員	田中 博幸
係員	玉田 秀樹
徳山支局	
支局長	森 義則
支局長補佐	井上 肇徳
総務係長	中村 和彦
統括登記官	弥政 忠文
登記官	中島 久士
係員	村田 光男
係員	山本 隆
登記調査官	有吉 清
係員	岡村 邦子
登記専門職	吉村 智恵子
係員	原田 邦夫
係員	勝部 泰和
係員	徳田 浩
係員	山根 忠相
係員	藤井 美鈴
萩支局	
支局長	山崎 浩正
総務係長	守永 辰夫
統括登記官	藤井 欽也
登記官	横山 好信
係員	松村 正博
登記専門職	津森 正義
係員	後藤 鋭輝
係員	古谷 訓
係員	藤井 裕子
係員	吉屋 仁志
岩国支局	
支局長	藤井 孝
支局長補佐	岡崎 和生
総務係長	有熊 和郁

統括登記官 森 脇 一 整
 登記官 三 隅 信 行
 “ 國 澤 富 三 郎
 登記調査官 斉 宮 英 敏
 登記専門職 原 澤 源 一
 係 員 大 島 穰
 “ 岩 谷 覚
 “ 尾 中 方 孝
 “ 宮 本 博 子
 “ 小 田 桐 香 苗

下 関 支 局

支 局 長 廣 中 章 人
 総務課長 谷 口 正 人
 統括登記官 岡 本 諒 三
 総務係長 田 中 哲 治
 登記官 中 川 綾 子
 “ 小 野 孫 房 夫
 登記相談官 山 本 房 夫
 供託専門職 林 彰 夫
 登記専門職 木 村 学
 “ 藤 井 茂
 “ 中 島 正 善
 係 員 藤 木 修
 “ 小 野 一 夫
 “ 川 村 泰 秀
 “ 原 田 勉 蜂
 “ 原 田 俊 峰
 “ 垣 村 昌 宏
 “ 横 山 孝 秀
 “ 金 子 忠 明
 “ 水 田 裕 美 子
 “ 岡 本 紀 子
 “ 中 村 英 樹

宇 部 支 局

支 局 長 中 原 宏 勉
 支局長補佐 安 田 謙
 総務係長 山 本 智 之

統括登記官 前 田 和 美
 係 員 藤 川 京 子
 登記官 水 田 一 義
 登記相談官 山 縣 龍 彦
 登記官 西 村 和 子
 登記調査官 松 永 憲 昭
 登記専門職 荒 瀬 哲 治
 係 員 岡 崎 さ お り
 “ 野 村 博 之
 “ 福 田 和 幸
 “ 田 中 義 則
 “ 若 槻 千 明
 “ 谷 村 典 子
 “ 佐 内 葉 子

美 祢 出 張 所

登記官(所長) 保 坂 一 男
 登記官 有 田 知
 登記調査官 浅 原 勉
 係 員 宮 村 美 代 子

阿 東 出 張 所

登記官(所長) 河 村 雅 子
 係 員 武 田 信 夫

新 南 陽 出 張 所

登記官(所長) 福 永 馨
 登記専門職 町 田 圭 司
 係 員 中 嶋 周 一

光 出 張 所

登記官(所長) 西 本 紀 美 子
 登記調査官 竹 内 基 晴
 係 員 河 野 恵 美 子
 “ 原 田 隆 男
 “ 釜 谷 和 雄

須 佐 出 張 所

登記官(所長) 田 中 昭
 係 員 道 端 浩 生

長 門 出 張 所

登記官(所長) 金 重 吉 起

登 記 官 岡 藤 康 通
 登記専門職 増 山 和 男
 係 員 藤 村 昌 代

周 東 出 張 所

登記官(所長) 中 川 俊 弘
 登記専門職 高 松 恵 子
 係 員 和 田 裕 勝

錦 出 張 所

登記官(所長) 河 村 保
 係 員 前 田 利 隆

柳 井 出 張 所

登記官(所長) 大 井 馨
 登記調査官 岡 本 隆 生
 “ 松 原 純 生
 係 員 斉 藤 春 洋
 “ 今 井 夕 起 子
 “ 吉 野 寿

久 賀 出 張 所

登記官(所長) 河 合 佑 一
 登記専門職 池 永 真
 係 員 小 山 喬

豊 北 出 張 所

登記官(所長) 藤 井 照 夫
 登記専門職 金 沢 稔 英

豊 田 出 張 所

登記官(所長) 河 村 礼 子
 登記専門職 古 川 信 明

山 陽 出 張 所

登記官(所長) 兼 安 典 子
 登記専門職 岡 崎 輝 雄

小 野 田 出 張 所

登記官(所長) 藤 井 靖 生
 登記専門職 宇 野 秀 穂 守
 係 員 伊 藤 守

第6回 公嘱協総会開催される

第6回目の山口県公共嘱託登記士地家屋調査士協会の定時総会が8月2日に盛会で無事終了した事を、一社員として嬉しく思います。協会を会社にたとえれば、理事長はまさに社長です。年商4億円の会社となれば、その運営によさわしい、立派な人物を思い浮かべます。その人物こそ我協会の竹内理事長です。まずは理事長に乾杯、次に協会に乾杯。この様に浮かれるのも私一人だけではないでしょ

う。もう2年も続投してくれるからです。でも多少の心配もあります。初代理事長の栗川さんからバトンを受けついで竹内さんとなった背景には後継者として育っていたからいいですが、人材に恵まれても2年でその後継者に育つかと思うと一抹の不安があります。これが私の老婆心であります様に念じてやまない者です。協会に幸あれ。

(塚家記)



司調親睦囲碁大会開催

恒例の司調親睦囲碁大会が8月21日開催された。参加者11名。今回は法務局にもご案内し中川表示登記専門官の特別参加があり、朗夏の日を楽しまれた。

参加者並びに成績は次の通り。

参加者

- 橋坂5段 (岩国支部)
- 谷村3段 (徳山支部)
- 石田2段 (防府支部)
- 堀田初段 (防府支部)
- 中川初段 (法務局)
- 白井3段 (山口支部)

碁穴初段 (山口支部)

安本2級 (山口支部)

渡辺2級 (山口支部)

中田初段 (下関支部)

長田1級 (萩支部)

成績

- 第1位 長田1級 5勝0敗
- 第2位 橋坂5段 4勝1敗
- 第3位 渡辺2級 4勝1敗
- 第4位 碁穴初段 3勝2敗
- 第5位 中川初段 3勝2敗

4月1日 表示登記の日

平成元年度も、4月1日に県下の会場
2ヶ所に於いて、表示登記の日無料相談
所が開設されました。

市町村の広報紙や、ポスター、ラジオ
等を通じ、土地家屋調査士のPRの場と
して4月1日が位置づけられ広く市民に
知らわたってきました。

無料相談所に御協力頂きました調査士
の皆様、大変お疲れさまでした。

登記相談を知った理由

1. 市町村広報紙	80%
2. ポスター	90%
3. ラジオ	70%
4. テレビ	20%
5. 新聞	20%



信頼をお届けします

UBEX

株式会社 ウベックス

本 社 田宇部 (0836) 21-1147
下関営業所 下関 (0832) 32-0113
山口営業所 電山口 (0839) 23-0380

FUJI XEROX

取扱商品

- 複写機(ゼロックス)
- ワークステーション
- ファクシミリ ●ワープロ
- パーソナルコンピューター
- オーバーヘッドプロジェクター
- その他O・A関連商品

宇部営業所 田宇部 (0836) 21-1147
防府営業所 田防府 (0835) 21-7771
萩営業所 電萩 (0838) 8-0411

第47回 連合会定時総会報告

副会長 乗川良介

平成3年6月10日～11日の両日に亘り、静岡県伊東市のハトヤホテルにおいて、第47回目の連合会定時総会が、盛大に開催され、新本会長並びに高田副会長と私（乗川）が代議員として出席致しました。

会議の様子は連合会報「土地家屋調査士」7月号で詳しく報告されていますので省略致しますが、特記する事を取上げて見ますと、連合会の平成3年度事業計画の中で、我ら山口会が研究している境界標識の統一に関し業務部で、事務所形態の研究に関し研究室で、それぞれ、正式に事業として取組んで戴くこととな

り、21世紀に向う新たな調査士像が土地家屋調査士法制定40周年の節目を期に、更なる専門職業の確立に前進を見る様な気がし胸のふくらむ思いであります。

連合会の運営方針に沿って、制度の究極に向い、制度の改善を重ねて、専門家集団の確立に「連帯と分担」を基調に、更に更に御指導いただけるものと確信をしているものであり、大きな希望を抱いて帰路につきました。

尚前述の通り、連合会の総会の様子、役員構成等については、土地家屋調査士の7月号、P2～P13に特集として掲載されていますので、御一読下さい。



各 部 会 だ よ り

7月16日第1回総務・広報部会

集会時間1時間30分が、前回決定されていたが、1時5分乗川副会長玄関前に現われる。2分遅れて八木部長、十分遅れて堀家理事、ややあって河村理事到着。定刻を待たずして開会となった。これだけでも部員の熱意の程が判ろうというものである。総務部協議事項も①②③とあったが異論なく決定した。さて広報部残党河村氏の出番となりすでに腹案をもったの発言。その案について非常に協力的な雰囲気のもと、会報の内容がテキパキと決定し、紙面文章の担当を自発的に他の部員が引き受けられる様子を見てその意気込みに圧倒されて見ていると、君も何か書けという部長命令により、総務広報部会報告と致します。(片山記)

経理、厚生部部长 田中拓朗

7月6日の合同役員会、そして8月6日の部会にて下記の件を決定いたしました。

- 1 平成3年度高齢者福祉優遇措置適用者決定(16名)
- 2 8月25日司調共催囲碁大会開催
- 3 三好前厚生部長よりアンケート調査集計の引継
- 4 上記アンケートにて年一回のリレーションを行なうことの希望が多いため、今年度実施することを検討する。

(ボウリング・旅行等)

- 5 ゴルフ、麻雀、将棋、囲碁、釣、ソフトボール、旅行の同好会を作ることを検討する。
- 6 共済制度、保険制度のPRを推進する。以上

企画部・公共事業部長

瀬口潤二

平成3年度役員改選後初めての支部企画委員一堂に集い、第一回目の企画委員会が開催された。

日 時 H 3. 8. 10日 午後1時30分より

出席者 新本会長、高田副会長
瀬口企画部長、山根、水津、西本各企画部員
各支部企画委員2名、合計14名

協議事項

- 1 平成2年度支部研修結果報告
 - 2 平成3年度支部研修計画
 - 3 境界標の統一と普及推進の研究
- 以上につき建設的協議がなされ、もえる企画委員の姿をまのあたりに見る有意義な会となった。その他、報酬の取組方、国有財産の事務取扱等についても真剣な検討がなされ終了した。

訃報 謹んでご冥福をお祈りします



田原 寛一 殿
 平成3年1月27日逝去
 享年84才
 昭和27年1月14日入会
 役職歴 本会理事・副委員長
 表彰歴 広島法務局長表彰



高島 修 殿
 平成3年7月9日逝去
 享年60才
 昭和29年2月1日入会
 役職歴 副委員長・理事・監事
 表彰歴 山口地方法務局長表彰



山崎 武隆 殿
 平成3年2月21日逝去
 享年85才
 昭和36年2月6日入会
 役職歴 本会理事・支部長
 表彰歴 山口地方法務局長表彰



亀山 剛男 殿
 平成3年7月27日逝去
 享年60才
 昭和26年9月9日入会
 役職歴 副委員長
 表彰歴 山口県土地家屋調査士
 会会長表彰



上原 和一 殿
 平成3年4月10日逝去
 享年80才
 昭和26年7月25日入会
 役職歴 支部長
 表彰歴 広島法務局長表彰



吉広 正晴 殿
 平成3年8月3日逝去
 享年79才
 昭和29年12月1日入会
 表彰歴 山口県土地家屋調査士
 会会長表彰

事務局だより

会 務 報 告

- 4月1日(内) 表示登記無料相談所開設
 (県下14会場)
- 11日(内) 監査会
- 19日(内) 理事会・支部長会
- 24日(内) 法・司・調三者協議会
- 5月19日(内) 総会打合せ
- 20日(内) 定時総会
- 6月4日(出) 萩支部総会
 - ＊ 防府 ＊
 - ＊ 山口 ＊
- 10日(内) 日調連定時総会
- 11日(内) 日調連定時総会
- 15日(出) 岩国支部総会
 - ＊ 徳山 ＊
 - ＊ 下関 ＊

- 6月29日(出) 宇部支部総会
- 7月2日(内) 中B会長会
- 16日(内) 総務・広報部会
- 22日(内) 企画・公共事業部会
- 24日(内) 法・司・調三者協議会

行 事 予 定

- 8月6日(内) 経理厚生部会
 - ＊ 総務広報部会
- 7日(内) 中B会長会・監査会
- 8日(内) 中B会長会・監査会
- 10日(出) 企画委員会
- 11日(内) 企画委員会
- 9月10日(内) 中B協議会総会
- 20日(内) 中B協議会総会

会員異動状況

1 会員入脱会状況

支部	氏名	年月日	入脱会
下関	打越 充浩	2.12.20	入会
防府	大田雄二郎	3.1.10	〃
宇部	吉田 匡宏	3.1.10	〃
〃	吉田 多里	3.1.10	〃
〃	埴生 正行	3.1.10	〃
徳山	三浦 隆	3.1.10	〃
岩国	沖広 哲裕	3.6.1	〃
防府	田中 英友	3.6.1	〃
岩国	小原 秀夫	2.11.9	広島会移転
宇部	高野 茂	3.1.31	廃業
萩	田原 清一	3.1.27	死亡
岩国	岡山 武臣	3.3.21	〃
宇部	吉行 信枝	3.4.15	廃業
〃	上原 和一	3.4.10	死亡
徳山	藤井 真	3.5.31	廃業
下関	宮崎 衛	3.6.30	脱会

2 事務所変更他

支部	氏名	変更理由	年月日
徳山	山本良正	事務所変更	2.9.2
		下松市大字末武下 267 番地の1	
下関	中山茂紀	事務所変更	2.9.1
		豊浦郡豊北町大字滝部 844-18	
防府	嶋津郁夫	住所変更	2.9.4
		防府市今市町 16-30	
岩国	大森正秀	住所変更	2.3.12
		柳井市大字新庄 1571-27	
徳山	宮本 武	事務所及び住所変更	2.2.13
		新南陽市宮の前 1-7-10	
山口	桑原 堯	住所変更	2.11.20
		山口市大字平井 309 の2 1-305号	
徳山	松本憲太郎	事務所変更	2.11.11
		徳山市弥生町 2-1	
下関	内田貞男	事務所及び	2.11.27

住所変更

	下関市長府逢坂町 4-81		
徳山	久野 操	事務所変更	3.1.27
	徳山市大字徳山 1007の67		
下関	田代雄三	事務所変更	3.2.2
	下関市前田 1-12-2		
宇部	縄田義介	事務所変更	3.2.25
	小野田市日の出 1-10-21		
〃	横山長生	事務所変更	3.2.25
	小野田市日の出 1-3-12		
〃	西村 勲	事務所変更	3.2.25
	小野田市日の出 1-3-12		
〃	増野省治	事務所変更	3.2.2
	宇部市東新川町 6-44コーポ高丸1階		
〃	小崎千代人	事務所変更	3.2.25
	小野田市日の出 1-4-6		
萩	伊藤正典	住所変更	3.3.10
	長門市東深川 2694の6		
宇部	藤本精二	事務所変更	3.4.2
	宇部市新天町 2-1-24		
防府	玉田哲二郎	住所変更	3.1.6
	防府市大字西浦 911の1		
下関	下野洋二	事務所変更	3.4.15
	下関市宝町 32-18		
〃	木村秀洋	事務所変更	3.4.15
	下関市宝町 32-18		
〃	宮崎幸三	事務所変更	3.4.15
	下関市宝町 32-18		
徳山	田中拓朗	住所変更	3.6.2
	徳山市大字徳山 4586の1		
下関	義満 一	住所変更	3.4.2
	豊浦郡豊浦町大字川棚 1569の14		
	義満 一	事務所変更	3.4.1
	下関市裨田南町 4-10サンガーデリアン10号		
徳山	木村健一郎	事務所変更	3.5.1
	徳山市花崗町 5-15		
岩国	波瀬清治	事務所変更	3.6.24
	柳井市南町 2-1-8		

総務部よりお願い

戸籍謄本・住民票の写し等職務上 請求書の取扱いについて

標記の件については、本年1月以降、事務手続が変更となり、新手続きを順守していただいているところですが、8月現在、県内外の市町村役場から、請求書用紙・請求書№、請求者名・会員名などについて電話照会がたびたびある状況です。

ついては、この請求書用紙の不正使用や誤使用を防止するため、本年10月1日

以降、市町村役場に提出される請求書用紙は全国統一版のもの（朱色印刷、全国統一番号印刷……25-A-〇〇〇〇〇〇〇）をご使用下さるようお願い申し上げます。

従って、旧様式の使用は9月末をもって打切り廃棄処分していただくようお願いいたします。

会員証の更新について

過ぐる昭和61年10月1日会員証の一斉更新をいたしました。5年を経過し本年が新規更新の年にあたります。ついては、お手数をお掛けしますが下記により更新手続をいたしたくよろしくお願ひ申し上げます。

記

1 現在の会員証及び最近の写真一葉

（5cm×5cm・無帽・上半身の背景のないもの）を早急に提出して下さい。

2 本会は、9月末日までに会員証のタイプ作成、写真の貼付作業を行ない、10月12日頃までに会員宛送付する予定です。

（付記） 事務所所在地に変更があり、変更届未提出の方は早目にご提出下さい。

宝塚歌劇と吉本喜劇の旅

宇部支部 瀬口潤二

過日、宇部山口地区の公嘱協会の社員7名を含め、38名で宝塚歌劇と吉本喜劇の旅をいたしました。

宝塚歌劇と吉本喜劇はあまりにも有名で特に報告するまでもないことですが、どちらも私にとっては、初めての観劇でしたので日記としてまとめてみました。

7月30日小郡駅より8時39分発のひかり180号に乗り込み新大阪に11時18分に着きました。

(東北新幹線は、東京駅への直接の乗り入れをしたのに大阪駅は、新大阪駅と2極構造のままなのは、なぜなんだろう?)

この日は、なんぼグランド花月で吉本喜劇を堪能しました。

平日にもかかわらず、満席で立ち見で観覧せざるをえませんでした。

ここで、印象的だったのは、ケニアアクロバットチームのショーでした。リズム・スピード・調和・華麗さは、大阪喜

劇の幕間での演出ということもあってか、さわやかな思い出となりました。

31日は、いよいよ女の園といわれる宝塚歌劇場に行きました。ここは、全席が指定とあってゆっくりと堪能できました。テレビや写真で見るのとこの宝塚劇場で、直接観賞するのは大違いです。

あのけばけばしいメイクや、男装の俳優さんたちがこの劇場では、華やかに劇場と調和して、観客と一体化している様に感じました。(もっとも、私自身は、まわりの観客のように劇場にとけこめたわけではありませんが、・・・)

ともかく、宝塚歌劇場が、なぜこれほど人気があり、もてはやし続けられるのか理解できました。(今日の日本の文化は実は女性たちがリードしているのだということなのかも知れません。)

こんなことを、考えながら16時30分の新大阪発のひかり143号で大阪を後にしました。

中国の車窓風景

下関支部 前田博司

中国は広いだけあって、旅をしていていろいろな珍しいことを見聞できる。

洛陽から西安までは昼間の列車だったが、車窓から眺める景観は、牛や羊ならぬ豚どもが天下の公道をのんびりとわがもの顔に歩いていたりしていた。

一面の麦畑に、日本で見る畦道のような境界線が全く見当たらないところも随所に見られた。境界がまったくないのかと言えばそうでもないようで、畑の中を背の高い並木が一直線に走っているところがあちこちにあって、これが境界を意味しているものらしい。どの木も裾回りの所まで麦で埋まっている。

こうした車窓風景が日本とどこか違っているように思えるのだが、それが何だろうかと考えていて、ふとその景色のなかに墓地が無いことに気が付いた。

そういえば、夕方北京を出てから日が暮れるまで、車窓には墓地らしい墓地が全く目にとまらない。添乗員に尋ねると今はそれぞれ一カ所の建物にまとめられているという。ともかく中国が共産主義の政権になってから、墓地は無意味で非生産的なものとみなされ、すべて耕地に

転用されたい。

ところが洛陽から西への旅では、緩傾斜地にある畑と畑との間のノリのところに、横に穴を掘って遺体を入れたものか、こんもりとした土まんじゅうがところどころに見られるようになる。新しい土葬らしい土まんじゅうの上には、ご幣のような白い紙で飾られた数本の笹が立てられている。土まんじゅうは時とともに次第に低くなり遺体は土に帰ってゆく。

西安に近くなると、塚の前に上部が長楕円形の黒い墓碑が建てられているものが次第に多く見受けられるようになる。街外れでは、店の前にこうした墓碑をたくさん並べた石屋の店も見掛けた。

もともと中国では土葬が一般的だったことから、火葬を普及させるためにいろいろな対策が講じられた。例えば共産党に入党の際、本人が死亡した時には必ず火葬にします、という誓約書の提出が求められたという。そうした締め付けは中央から離れるにつれて軽くなったものか、今なお土地の人々によって昔風の土葬が営まれているように感じられた。

牡丹が散り芙蓉咲く頃の旅であった。

事務所の“棚おろし”をしましょう

“あれ”はどこにしまったかな、あるのはわかっているけど、今すぐにはわからん、探したら出て来ると思うが、どこを探したらええかようわからん。事務所の中をもっと清潔にしたいー。

よくあることです。それには整理と掃除をこまめにすれば良いとはわかっているでもなかなか出来ないものです。私の事務所で実践している“棚おろし”を行えば解決の一助となると思います。

一般小売店では、棚おろしの対象が商品であり、定期的に在庫の確認と商品陳列のレイアウトの変更をしています。調査士の事務所では、生産設備である事務器機及び資料が対象になります。

どのようにするか説明しましょう。

事務所の中の机やロッカー等々収納物のうちから一つを、月1回のペースで（私の事務使では給料日と決めております）ターゲットを決め、それを徹底的に掃除します。

例えば机をターゲットにすると、その中のクリップ一つ、ボールペン一本まで、一旦全部出します。出したものを事務所員全員（各人ですと駄目です）で、必要か不要か即時に結論を出し、不要なものはその場で廃棄処分し、とりあえず不要なものは事務用品をしまうコーナー（私の事務所では“うらい屋”と呼んでおります）に保管しておきます。もちろんこのコーナーも“棚おろし”の対象になります。

月に1回のこの作業に要する時間が、1～2時間とすれば、年間12回するとして合計で20時間近くになります。年1回の3～4時間の大掃除では、なかなか整理とまで手がまわりません。このようにすると事務所の中がいつも清潔で、瞬時に必要なものを取り出すことができます。

2年目頃から効果があらわれてくると思います。まずは一度お試しあれ。

岩国支部 浦井 義明



目 次

第44回定時総会開催	1
局長あいさつ	6
会長あいさつ	7
第1回理事会	8
新役員名簿	9
副会長あいさつ	10
部長あいさつ	13
理事抱負	15
支部長あいさつ	16
法務局職員名簿	18
公嘱協会総会開催	20
4月1日表示登記の日	21
連合会定時報告	22
各部会だより	23
事務局だより	24
会からのお知らせ	26
投 稿	27

発 行 山口県土地家屋調査士会
山口市駅通り2丁目9番15号
電 話 (0839) 22-5975
FAX (0839) 25-8552
振 替 9-11085

発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 新本 清人
広報担当副会長 桑川 良介
広報部長 八木 哲郎
部 員 河村 誠一
* 片山修一郎
* 郷家 敏

印刷所 桜プリント企業組合
山口市旭通り1-6
電 話 (0839) 22-1712

表紙のことは

深谷大橋（玖珂郡蒲町大字宇佐郷）
巨岩、怪石で名高い深谷峡に架る、当時
西日本一を誇る最高のアーチ橋で、高さ94
m、長さ100 m。
真紅の橋が、四季に映え、この一帯の原
始林と調和して壮観である。
昭和37年9月完工、鉄骨資材156トン。

